

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ウラガミ タクヤ
神奈川大学	経済学部	浦上 拓也

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ウラガミ B チーム	フリガナ) サカモト リカ	6	無	
浦上 B チーム	坂本 里華			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査に使用したパンフレット

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

川越で見るインバウンド

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究は、川越市に焦点を当てインバウンド事業の現状を明らかにし、課題を見つけ出す事を目的とした。

川越市は、多言語対応や外国人に向けたプロモーションなどインバウンド政策に力を入れている。川越市のインバウンド事業を研究することは、他の地方の活性化に繋がると私たちは考える。日本人の旅行に対する国内消費が伸び悩んでいる今、増加している訪日外国人への対応を考えることは、今後の日本にとって大切である。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在、日本を訪れる外国人は年々増加している。日本に複数回訪れたことのあるリピーターの外国人は、東京・箱根・富士山・名古屋・京都・大阪などの主要観光都市を回る観光周遊ルート「ゴールデンルート」ではなく、地方の自然・景勝地などの観光を求める傾向にある。観光庁の「訪日外国人旅行者の受入環境整備事業」の地方拠点に選ばれた川越は、年々訪日外国人旅行者が増加し、今後よりいっそう増加が見込まれる。

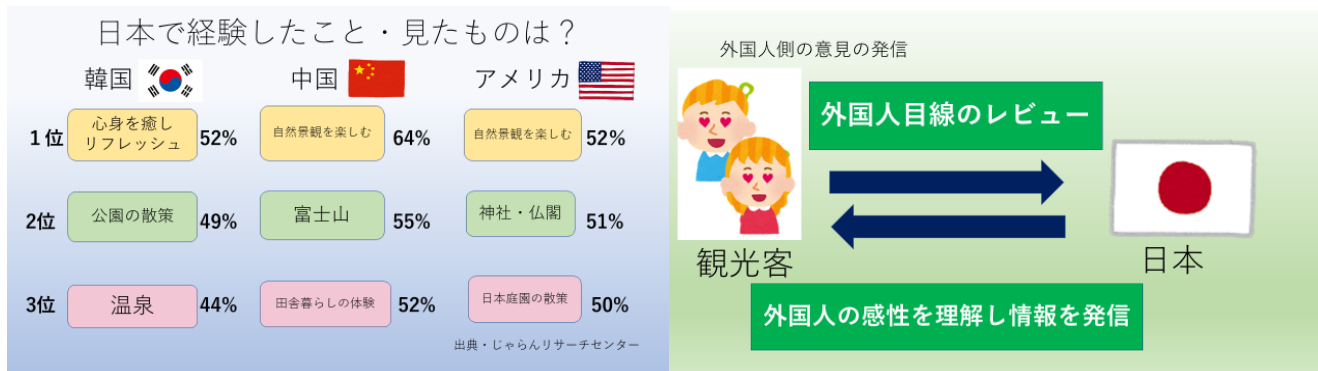


3. 研究テーマの課題

観光庁の外国人旅行者を対象としたアンケート調査によると、訪日外国人旅行者が日本に訪れた際に不便に感じることで、無料公衆無線 LAN 環境の不足、多言語表示の不足、施設のスタッフとのコミュニケーションが取れないなどが挙げられた。川越市はこれらの課題に対応する政策を行っている。しかし川越市には、それらの課題に加え、宿泊客が少ないこと、観光資源が未活用であること、他地域との連携が不足していることが挙げられる。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

インバウンド政策をより良いものにするために必要なこととして、1 つめには、様々なターゲットごとにプロモーションを変えることが挙げられる。それぞれの国によって、日本に期待することや参考にする媒体は異なる。そのため、それぞれの国のニーズを理解し、それに合ったプロモーションを行うことが求められる。2 つめには、外国人側の意見を取り入れることが挙げられる。訪日外国人が良いと思うコト・モノは、日本人の感性だけでは理解できない。そのため、外国人が感じたこと、不満に思ったことを外国人目線で旅行者に伝えることは、訪日外国人の満足度を高めるために必要なことだと考えられる。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

実際に川越市に行き、産業観光部観光課の並木様にお会いし、川越市のインバウンドに対する政策や抱えている問題を伺った。また、自分達で街を歩き、実際にインバウンド政策がどれくらい、どのような形で行われているかを調査を行った。

その他、インターネットや書籍を利用し、様々な面からインバウンドに対する知識を深めた。

6. 結果や今後の取り組み

現在の日本では、少子高齢化や人口減少が問題視されている。そのため訪日外国人へ様々な対応が行われているが、解決されていない課題は多くある。川越への調査、取材を通してインバウンドをより推進していく上での課題が見えてきた。川越市では県や市が政策を行うだけでなく周辺住民も積極的に協力していることが、訪日外国人旅行者増加の手助けとなっている。しかし日本人の感性だけでは外国人旅行者の求めるニーズを理解できない。そのため、今後は日本人目線のインバウンド政策ではなく、外国人目線を活用したインバウンド政策に力を入れる必要がある。

7. 参考文献

- 川越市役所 HP <https://www.city.kawagoe.saitama.jp/> 2018/9/8
- 小江戸川越観光協会ホームページ <https://www.city.kawagoe.saitama.jp/> 2018/9/2

- ・観光庁ホームページ <http://www.mlit.go.jp/kankocho/> 2018/9/6
- ・日本政府観光局(JNTO)ホームページ <https://www.jnto.go.jp/jpn/> 2018/9/16
- ・川越市インタビュー記事 <https://inboundplus.jp/feature/95390/> 2018/9/2
- ・YouTube「川越市チャンネル」 <https://www.youtube.com/user/kawagoecitychannel> 2018/9/12
- ・トリップアドバイザー <https://tg.tripadvisor.jp/news/ranking/best-inbound-attractions/> 2018/9/15
- ・じゃらんリサーチセンター <http://jrc.jalan.net/> 2018/9/10
- ・JTB 外国人旅行者のニーズ把握調査 www.mlit.go.jp/common/000147865.pdf 2018/9/4

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください